

KEY WORD

『好朋友』とは…

2006年、大連市で第2外国語としての日本語教育が中学校に導入されました。大連教育学院とTJFは、第2外国語教育用教材『好朋友』を共同制作し、07年に第1巻を出版、09年に全5巻が完成しました。その後、他の省でも第2外国語として日本語教育を導入するところが増えていきます。

2016年度に、最初の「好朋友 日本文化体験の場」（以下、体験の場）が遼寧省・大連市第31中学に誕生しました。2017年度は上海市工商外国語学校、広東省・中山市外国語学校、華南師範大学第2付属中学付属南沙小学校、黒龍江省・ハルビン市朝鮮族第1中学にも相次いで誕生し、計5カ所になりました。各校が装飾も含め施設を準備し、TJFが浴衣、カルタ、五月人形、学校の制服、百人一首、絵本、教材などを寄贈しています。体験の場は、学校内にありますが、その学校の生徒だけでなく、近隣の人たちも使うことができます。また学校がある地域に暮らす日本人とのネットワークをつくり、浴衣の着付けに来てもらうなど、さまざまな人たちをつなぐ役割を担っています。

大連

遼寧省大連市
第31中学



ハルビン市

黒龍江省・ハルビン市
朝鮮族第1中学



ハルビン

大連市

上海市

上海市
工商外国語学校

上海



自慢の畳

日本風にするためにこだわったのは障子、畳、天井です。特に畳は、上海に工場をもっている日本の畳屋さんを見つけました。
(上海市工商外国語学校 王佳先生)



七夕の願い

中国の七夕は好きな人と結ばれるように、恋人同士が仲よくずっと一緒にいられるように、とお祈りします。日本では恋愛に関係なく、いろいろな願いがかなうように祈ることを生徒に説明して、みんなで短冊に願いことを書いて、体験の場に飾った笹に結びつけました。

(中山市外国語学校 伊藤瞳先生、席芬先生)



広州市

中山市

広東省・中山市
外国語学校

中山



広東省・華南師範大学
第2付属中学
付属南沙小学校

広州

2017年度事業データ

日本語図書・教具等の寄贈

期間：2017年4月～2018年3月、寄贈先：広東省・中山市外国語学校、華南師範大学第2付属中学付属南沙小学校、黒龍江省・ハルビン市朝鮮族第1中学、上海市工商外国語学校、遼寧省・大連市第31中学、助成：(公財)三菱UFJ国際財団

経験交流会

期間：2018/3/23(金)～24(土)、場所：広東省・中山、助成：(公財)三菱UFJ国際財団、会場協力：中山市外国語学校、講師：武田育恵(日本語教育専門家)、実践報告：付瑤(大連市第31中学日本語教師)、参加者：25名